

## 志賀原子力発電所 2号機における 漏えいした燃料集合体の確認について

平成21年7月21日  
北陸電力株式会社

志賀原子力発電所 2号機において、7月20日から「漏えいした燃料集合体を特定するための検査<sup>1</sup> (以下、 SHIPPING 検査)」を行っていますが、本日(7月21日)、漏えいした燃料集合体 1 体を確認しましたので、お知らせします。

これは、志賀原子力発電所 2号機の運転中に、燃料集合体からの放射性希ガスの漏えいを確認したため、今回の定期検査(7月10日開始)において、SHIPPING 検査により漏えいした燃料集合体を特定することにしていたものです。(7月3日お知らせ済み)

漏えいが確認された燃料集合体は、詳細に外観点検等<sup>2</sup>を実施したうえで、使用済み燃料とし、新しい燃料集合体に取り替えることとします。

なお、残りの燃料集合体に対して引き続き SHIPPING 検査を7月末まで実施し、検査が終了した段階で、検査結果をまとめてお知らせいたします。

以 上

添付資料：志賀原子力発電所 2号機 漏えいした燃料集合体の場所について

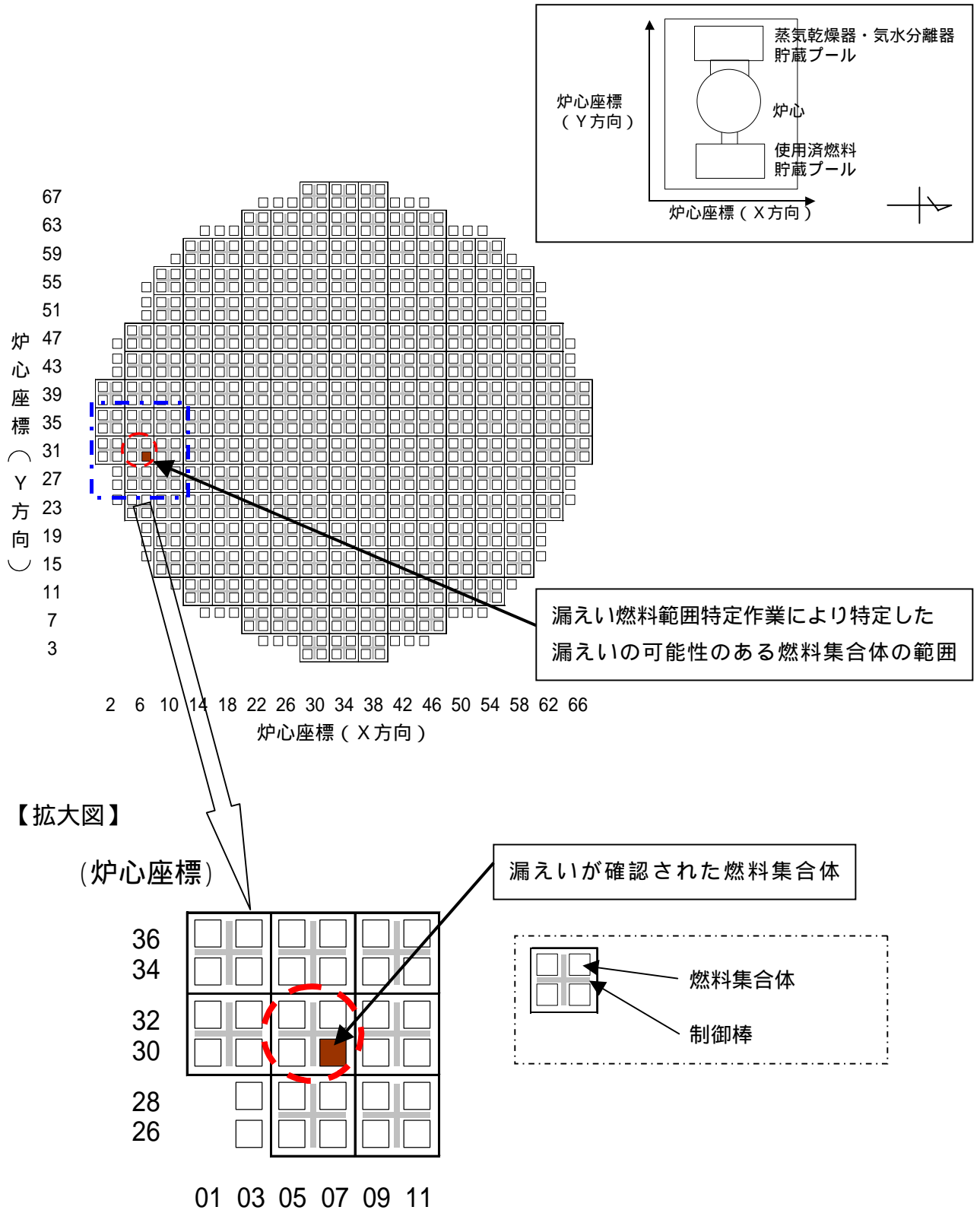
### 1 漏えいした燃料集合体を特定するための検査 (SHIPPING 検査)

燃料棒に漏えい箇所がある場合は、燃料集合体を炉内の装荷位置から上昇させると、燃料棒にかかる水圧が低下し、放射性希ガスが原子炉水中に放出される。この原子炉水を採取し放射性希ガスの量を測定することにより漏えいした燃料集合体を特定できる。

### 2 外観点検等

水中カメラによる外観検査、超音波検査による漏えい燃料棒の特定、ファイバースコープによる漏えい箇所の状態を調査する。

### 志賀原子力発電所 2号機 漏えいした燃料集合体の場所について



・座標07 - 30 (制御棒06 - 31の近傍)で漏えいした燃料集合体1体を確認